

## 北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 研究課題名<br>(整理番号)                     | REV7 の頭頸部癌の予後因子としての有用性についての検討 (B24-029)   |
| 当院の研究責任者<br>(所属・職位)                 | 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 助教 初山香保   |
| 他の研究機関および<br>各施設の研究責任者              | なし  |
| 本研究の概要・背景・目的                        | REV7 というタンパクは、細胞の DNA が壊れた時に、修復する役割を担う蛋白です。悪性腫瘍において高い発現を示しており、培養した癌細胞を使った実験により、REV7 の発現を低い状態にすると抗癌剤の効果がよくなることが分かっています。この度、北里大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科では、REV7 蛋白が頭頸部領域の悪性腫瘍において、どのような影響を与えているか調べる研究を行うことになりました。病院病理部に保管されている臨床検体標本を、REV7 抗体を含む様々な抗体で染色し、癌細胞の性質を調べます。そして、REV7 の発現と治療効果や予後との関連性を調べます。REV7 と頭頸部癌の予後の相関が分かることは、今後予後予測や治療選択に有用になる可能性があります。 |
| 調査データ<br>該当期間                       | 2008 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日までの情報を調査対象とします。  |
| 対象となる患者さん                           | 2005 年 1 月 1 日～2016 年 12 月 31 日までに、北里大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科にて頭頸部癌と診断された患者さん   |
| 研究の方法<br>(使用する試料等)                  | 2008 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データや診断の際に採取した病理組織検体を利用します。  |
| 試料/情報の<br>他の研究機関への<br>提供<br>および提供方法 | 他の機関への試料・情報の提供はありません。   |
| 利用又は提供を開始する予定日                      | 研究機関の長の許可日から  |
| 個人情報の取り扱い                           | 利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。   |
| 本研究の資金源<br>(利益相反)                   | 本研究の遂行のための費用は、北里大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局研究費を使用します。<br>研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。  |

|         |  |
|---------|--|
| お問い合わせ先 | <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますので申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:<br/> <b>所属・職位:医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 助教</b><br/> <b>担当者:初山 香保(モミヤマ カホ)</b><br/> <b>電 話:042-778-8111</b></p> |
| 備 考     | <p>今回集めたデータは研究成果の発表だけではなく、データのより詳細な集計や解析を行って頭頸部癌治療における REV7 の役割の実態を検討するために二次利用することがあります。</p>   |